

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 二通宏久
 (コード番号：2321 東証グロース)
 問合せ先 グループ業務推進室 室長 檀上 浜爾
 電話 03-6550-9270

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年6月27日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期業績予想と実績の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表 (A)	百万円 800	百万円 30	百万円 30	百万円 —	円 銭 —
実績 (B)	768	△47	△47	△57	△1.88
差額 (B-A)	△32	△77	△77	—	—
増減率 (%)	△4.00	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	377	△17	△34	△29	△1.02

2. 業績予想との差異の理由

当社は、当社グループの主力製品である「commubo」、「telmee」及び2022年8月に提供を開始した「SITE PUBLIS Connect」の商品力強化に主軸を置き営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、主力製品である「commubo」の販売活動におきまして、初期督促業務への導入及び大手小売店における試験的導入等の実績が順調に推移し、「commubo」「telmee」の新規領域及び「SUPREE他」の既存領域としては計画通りの売上高を計上したものの、SITE PUBLISとしての計画数値であります450百万円において、Web制作における役務提供先顧客におけるプロジェクト開始遅れや、デリバリーの集中時におけるリソース不足等による売上伸長の鈍化により売上高が32百万円下回ったことから、前回業績予想を下回りました。

営業利益及び経常利益については、売上高が下回ったことと、プロジェクトの開始遅れが発生したことによる労務費の発生、想定外の1.5倍以上の外注単価の上昇、エンジニア採用に向けた採用活動を積極的に進めたものの採用に至らず、さらに外注費が約50百万円程度発生したことによる原価の増加、「SITE PUBLIS Connect」によるマーケティング活動等認知度向上に要した販売促進費用約10百万円が発生したこと等により、営業利益及び経常利益において前回予想を下回りました。

(注) 上記の内容は、本日（2023年5月12日）公表の「2023年3月期決算短信【日本基準】（連結）」に反映しております。

以上